

【南区】令和5年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和5年2月14日（火） 午前9時50分～10時40分
場 所	南区役所 7階 701～703 会議室
出席者	<p>【座 長】 荒木由美子議員                  【議 員：3名】 遊佐大輔議員、仁田昌寿議員、渋谷健議員                  【南 区：24名】 鈴木健一区長、滝本潔副区長、                  木村博和福祉保健センター長、                  大塚貴司福祉保健センター担当部長、                  村上一徳土木事務所長、今山徹南消防署長（災害対策                  担当部長）ほか関係職員 18 人</p>
議 題	令和5年度 個性ある区づくり推進費 南区予算案について
発 言 の 要 旨	<p>【渋谷議員】                  9ページの『いきいきふれあい南なんデー』について、予算が70数万円減ということですが、何を減にしたのですか。</p> <p>【中村 福祉保健課長】                  これまでの開催実績を踏まえて、必要経費を精査したうえで減としております。主に、これまで会場の設営委託費や広報費などを計上していましたが、それらの必要経費を精査したうえで計上しております。</p> <p>【渋谷議員】                  具体的に見直したものはありますか。</p> <p>【中村 福祉保健課長】                  実行委員会に補助金を交付しておりますので、内訳についてはこれから実行委員会のみなさまと検討していきますが、今年度感染対策などの物品など購入したものがありますので、それらを抑えられると見込みまして、この予算を計上しております。</p> <p>*****</p> <p>【遊佐議員】                  14ページの『脱炭素行動普及啓発事業』についてです。今、私は「温暖</p>

化対策・環境創造・資源循環委員会」に所属しております。明日は、脱炭素議連の設立総会が行われるということで、所属する団の中でも各常任委員会で脱炭素化に向けた取組について、各局から報告事項として常任委員会に報告するように求め続けております。区役所でとなると、このLED照明などが主に該当すると思いますが、これから区役所の中でも18区、脱炭素の行動を行ってきたか、また、どういう効果があったのか、ということを探っていく方向性になるかと思っております。是非、頭に入れておいていただきながら、こういった活動に取り組んで欲しいと思っております。

**【宮崎 区政推進課長】**

脱炭素につきましては、温暖化本部が、地球温暖化対策実行計画を策定しております。これまでは、この計画に位置づけられている区の事業はありませんでしたが、改定の際に、いわゆる行動変容ですとか啓発も積極的に紐付けていきたいという意向もあり、南区では計画の中でこちらの事業ですとか、スリムプランの推進、みなみ桜まつりにおけるLEDの活用、防災フェスタにおけるFCV（燃料電池自動車）の展示などの取組も具体的に記載しております。

また、先生ご指摘のとおり、効果を測ることは難しいと思っておりますが、次年度新規で開催する予定の講演会では、お子さん向けの啓発と同時に、予算によりますが、例えば参加された方にLED電球等をお持ちいただいて、それを家庭で生かしていただくというような工夫もしながら、実のある事業を推進していきたいと思っております。

**【遊佐議員】**

これから、この庁舎の中でも少し行動が変わっていくと思っておりますので、所管課はもちろんです、みなさんの中で意識をしながら取り組んでいただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

**【仁田議員】**

2ページの『こどもログハウス』についてですが、「管理運営費」と書いてあります。これは、環境創造局が公園施設の一環として管理しており、地元と区との連携で運営されていると理解していますが、18区に1か所ずつ設置、逆にいうと区内に1か所しかありません。しかし、できれば区内の様々な子どもたちが活用できる『こどもログハウス』であって欲しいということと、さらに『こどもログハウス』が十分活用できるようなメニューや活用の仕方、そういった機能をもっと考えていただけないかということで、こども青少年局などがどうしてコミットしないのかと従前から申し

発言の  
要旨

上げております。区として、単に安全のために管理するだけでなく、子どもたちのために何ができるのかというような観点をもっと持っていたいただければと従前から思っており、それぞれの局に申しあげているのですが、これについてはいかがお考えですか。

**【斎藤 地域振興課長】**

仁田先生のおっしゃるとおりだと思います。委託契約で管理費を中心とした業務内容でお願いをしておりますので、運営についてどのようにやっていくかということは非常に大きな課題だと思います。その辺も含めて、委託先とは話し合いをしていきたいと思います。

**【仁田議員】**

続いて、5ページの『商店街クーポンマップ』ですが、改めて、どういう内容なのか教えてください。

**【斎藤 地域振興課長】**

まだ検討段階ですが、せっかく80周年ということですので、クーポンマップをもっていくと割引が受けられるですとか、冊子にするですとか、それはこれから商店街の方と検討していきますが、先ずそれに参加していただける店舗を探さなければなりませんし、商店街の方にとっても、使い勝手の良い、便利な形を検討していきたいと思っていますところです。

発言の  
要旨

**【仁田議員】**

是非、わくわくするようなものを考えていただければと思います。

続いて、8ページの『子育てオンライン相談事業』についてですが、専用タブレットを購入してオンラインでも保育・教育コンシェルジュによる相談ができるということは大事な取組ですし、まさに今、DXの中で自然なかたちで導入されるべきだと思います。いつからスタートする予定ですか。

**【角田 学校連携・こども担当課長】**

新年度に入りましたら速やかにタブレットなどの備品や消耗品を購入しまして、6月頃から実施をしたいと考えています。

**【仁田議員】**

周知などは、今後どのようにお考えでしょうか。

**【角田 学校連携・こども担当課長】**

チラシなどを作りまして、また、WEB ページなども利用しまして、区民

のみなさまに広く周知していきたいと考えています。

**【仁田議員】**

秋にかけて入所の相談が増加してくると思いますが、体制の整備も併せてお願いしたいと思います。

**【仁田議員】**

続いて、10 ページの『お元気 21 高齢者推進事業』のなかの「タッチパネルによる認知症もの忘れ相談プログラム」についてです。これはどこかと提携して行われるのですか。

**【石川 高齢・障害支援課長】**

こちらは、製品として、プログラムと診断結果が出力されるレポートのようなものがセットになったシステムがございます。それを一式借り上げまして、お越しいただいた方に5分程度のテストを受けていただきます。保健師と職員が、テスト結果に応じたアドバイス等を行いまして、横浜市の認知症もの忘れ相談や、無料の相談プログラム、市内の認知症の疾患の病院へのご案内に繋げていくということで、今回初めて行ってみようというものです。

発 言 の  
要 旨

**【仁田議員】**

大事な取組だと思いますが、システムは区役所にあるのですか。

**【石川 高齢・障害支援課長】**

こういったシステムを開発しているところから借り上げまして、私どもの方でそのシステムを操作して、お客様に使っていただくというものです。

**【仁田議員】**

そうすると、そのシステムを使いたいと思う人がここに来ないといけな  
いのですか。

**【石川 高齢・障害支援課長】**

もともと、「お元気で21 検診」という市内の地域ごとに年間5回から7  
回くらい行っていた介護予防、これは体力の衰えを早期発見しようとして行っ  
ている事業ですが、この事業に併せて、来ていただいた方に、もの忘れに  
ついて体験していただき、その後の介護予防や認知症予防の取組に繋げ  
ていただこうという趣旨で、会場が指定されております。

【仁田議員】

出前してくれるということですね。分かりました。

続いて、12 ページの『青少年ボランティア地域交流事業』について、1 点確認です。「中学生を対象にボランティアを募集して、放課後児童育成事業所で活動してもらおう」と書かれており、これもまた大事な取組だと理解しておりますが、放課後の 2 事業とも対象となりますか。

【角田 学校連携・こども担当課長】

放課後キッズクラブ、それから放課後児童クラブ、双方に希望を募りまして、手を挙げていただいたところには、派遣してまいりたいと考えております。

【仁田議員】

続いて、13 ページの『災害対策本部運営強化事業における携帯電話端末の更新完了による減』についてですが、この端末はこれまで通りの端末の単なる更新でしょうか。

【森田 総務課長】

これについては、先ず 14 台、いわゆるガラケーだったものをスマホに替えました。さらに新規で 9 台を追加購入しております。

【仁田議員】

分かりました。通常の携帯電話端末ですね。今後、新たな地域 BWA を使って、常に遮断しないようにやっていくことになると思いますので、そことの兼ね合いが気になりました。更新してしまったものは仕方がないですね。

続いて、14 ページの『脱炭素行動 PR 事業』についてですが、脱炭素の観点でいうと、区庁舎をどうするかという問題、それから市民利用施設をどうするかという問題があります。当然、これはみなさん方の視野にあるだろうと思いますが、一例を言えば、学校にあるような VPP（仮想発電所）など、脱炭素に向かう様々な資源があると思います。区内全体を見渡して、みなさん方がもっと脱炭素を進められないかという観点で仕事を進められないかと思っています。設備の LED 化だけに留まらず、もっと省エネなどの区内資源をひっくるめて取り組んでいくことが求められるのではないかと思います。いかがですか。

【宮崎 区政推進課長】

本当に効果を出すためには、先生がおっしゃるように啓発事業だけではなく、施設を横断的にどうするかという視点を持たなくてはいけないと

発言の  
要旨

思います。その辺につきましては、区づくり予算のほかに、局が各区にモデル事業等を募集しておりますので、そうした機会を捉え検討していきたいと思っております。また、区庁舎につきましては、比較的新しく、省エネ性能に優れており、また、市大病院とのエネルギー連携もありますけれども、そうしたものも含め全体としての可視化の部分が、これまで少ない部分がありましたので、課題としてこれから考えていきたいと思っております。

【仁田議員】

今、ご説明していただいたように、全国初の自治体として市大病院と電力融通をやっているわけで、どこの区役所が停電しても南区役所は絶対停電しないという状態になっています。このことと同じように、区内のなかをもっと広く見渡してください。「温室効果ガス削減目標 50 パーセント」というのはとんでもない数字で、本気にならないと達成できません。先ほど遊佐議員がおっしゃった通りで、それぞれの局が真剣になり、削減がどのように進捗しているかを、常にお互いに確認し合っていないと進んでいかない事業だと思いますので、全体を広く見ていただくことを改めて要望したいと思います。

最後に1点、15 ページの『スクールゾーン対策事業における、電柱巻標識更新件数の減』についてですが、従前から電柱に安全表示をしないということは聞いていました。電柱に安全表示をしない理由と、必要な安全表示をこれからどのようにしていくのか教えてください。

【斎藤 地域振興課長】

こちらの減については、なくしていくという方向ではありません。電柱に貼り付けてある安全表示については、5年で更新をしないと落下の恐れがありますので、基本的に5年で、繰り返し更新をしております。来年度は更新の数が少ない年に当たっているだけで、4年度と比べると減っているということです。ただ、電柱巻につきましては、東電の方から3年に1回更新して欲しいですとか、今までではないような要求がきていたりしますので、むしろ路面表示の方が分かりやすく、車の方への注意喚起にもなるだろうということで、順次変えている部分はあります。スクールゾーン協議会のみなさんとお話ししながら、希望をとって、地域のみなさんが良いと思う形でやっているところです。

【仁田議員】

すみません、少し情報が不足してました。増やすのをやめたと聞いていたので。増やすことよりももっと視認性の良いものを検討するというように前向きに考えていくということでもよろしいですか。

発言の  
要旨

【齋藤 地域振興課長】

はい、おっしゃる通りです。

\*\*\*\*\*

【渋谷議員】

13 ページの『減災対策支援事業』についてですが、家具の転倒防止、ガラスの飛散防止などいろいろありますけれども、補助件数がなかなか伸びていないという話を聞いています。例えば、家具で 60 件予算組みしていて、実際何件くらい助成できたのか、この 4 つの補助区分について分かれば教えてください。

【森田 総務課長】

先ず、家具についてですが、令和 4 年度の実績で 39 件、ガラスは 24 件、感震ブレーカーは個人と団体を合わせまして 255 件となっております。家具とガラスについては、来年度の予算より今年度の実績が増えているということになりますが、この補助事業は年によって申請数に波がありましたので、家具とガラスにつきましては過去 5 年の実績に応じて、少し減額しております。また、感震ブレーカーにつきましては、実施開始から間もないということもありますので、現状維持としております。ただし、仮に予算を超える申請があった場合は、可能な限り対応していこうと思っております。

\*\*\*\*\*

【荒木議員（座長）】

19 ページの『学校を核にした多文化共生事業』で、「新たに、中学校向けのプログラムを実施します」について、どういう内容なのか教えてください。

【角田 学校連携・こども担当課長】

現在、小学生向けにこの事業を実施していますが、中学校からも外国に繋がる生徒さんが多いということで、事業を実施してほしいというご要望がありました。来年度からは小学校とは別に、外国の地理や外国語の入門ですとか、多文化のワークショップや外国人を含めた防災といった、実践的な内容で実施していきたいと考えています。

【荒木議員（座長）】

その場合、ボランティアになっていただく方のハードルが上がると思い

ますが、その辺の人材はいかがですか。

**【角田 学校連携・こども担当課長】**

みなみラウンジの方と協議しておりまして、その辺も含めてできる方を選んでいきたいと考えております。

**【荒木議員（座長）】**

次に、14 ページの『脱炭素行動普及啓発事業』についてですが、いろいろ横断的に考えて取り組んでいくのは非常に大事なことだと思います。

「講演会を開催」とありますが、講演会に向けて、ここに書いてある保育園・幼稚園・小中学校などでも、それぞれの学校の中で取り組んでいると思いますので、学校での取組の発表と併せるとか、講演会だけをメインにするとか、その辺のプログラムはどのようにお考えですか。

**【宮崎 区政推進課長】**

これまでは区役所が企業にご協力いただいて作成した脱炭素メニューを希望する学校に出張授業というかたちで実施しておりました。これまでの繋がりの中、熱心な学校の取組等々も、組み合わせて幅広い内容になっていくように考えていきたいと思っております。

**【荒木議員（座長）】**

別件ですが、南区ソーシャルマガジン「キラリ」が良い企画で、届くのを楽しみにしています。温暖化の特集号などを広報の雑誌で組めると、よりみなさんに見ていただけたらと思います。今度、保土ヶ谷工場も改修になりますし、南区とは離れていますが、そういう横浜市の取組や、横浜市自身が CO2 排出ベスト 10 の中、5 位に入っているという事実を知らせながら家庭での排出も考えないと進まないという点では、私たち議員も全会一致で取り組むことになっています。80 周年の取組にも落とし込んでいただけたら良いと思いますので、ご検討をお願いします。

次に、6 ページの『読書活動推進講演会』についてですが、ずっと実施していたと思いますが、特別に 80 周年ということで企画を組まれるのでしょうか。

**【大場 読書活動推進担当課長】**

今までも毎年、講演会をやってきました。今年は南図書館開館 30 周年もありましたので、図書館の方も大きいイベントをさせていただきました。南区制 80 周年に向けて、読書推進だけでは区民の方たちも楽しみがないのは分かっておりますので、その辺も含めてある程度イベントになるような、そしてその中に読書も楽しいよというような内容を取り込めたら

良いと思ひまして、今、実践しているところでは。

**【荒木議員（座長）】**

はい、分かりました。楽しみにしています。

最後に1点、保育の関係で教えていただきたいのですが、虐待問題や車内に置き去りにした件などがありました、南区にもそういう相談件数があったのかどうか。これから、車内置き去り防止の装置を義務付けるといふことにもなっていますけれども、配置しなければいけない、車の件数などは分かりますか。

**【角田 学校連携・こども担当課長】**

保育の関係ですが、南区でも今年度は5件くらい通報・相談がありました。その度に、こども青少年局職員と合同で立ち入り調査を行ひまして、必要な改善、指導は行っております。幼稚園については、把握していません。申し訳ございません。

\*\*\*\*\*

**【荒木議員（座長）】**

他になければ、よろしいでしょうか。では、本日の議事録を市会議長に提出しますので、議事録の作成につきましては座長の私に御一任といふことでよろしいでしょうか。

**【議員一同】**

はい、異議なし。

**【荒木委員（座長）】**

それでは、そのようにさせていただきます。以上で本日の予定はすべて終了いたしました。最後に事務局から連絡はありますでしょうか。

**【森田 総務課長】**

次回につきましては運営要領に基づきまして、令和5年度の執行計画等について、6月頃に開催させていただき予定でございます。詳細につきましては調整をさせていただきます。

**【荒木議員（座長）】**

それでは次回の予定も確認しましたので、これをもちまして、令和5年第1回区づくり推進横浜市議員会議を閉会します。みなさん、ご協力ありがとうございました。